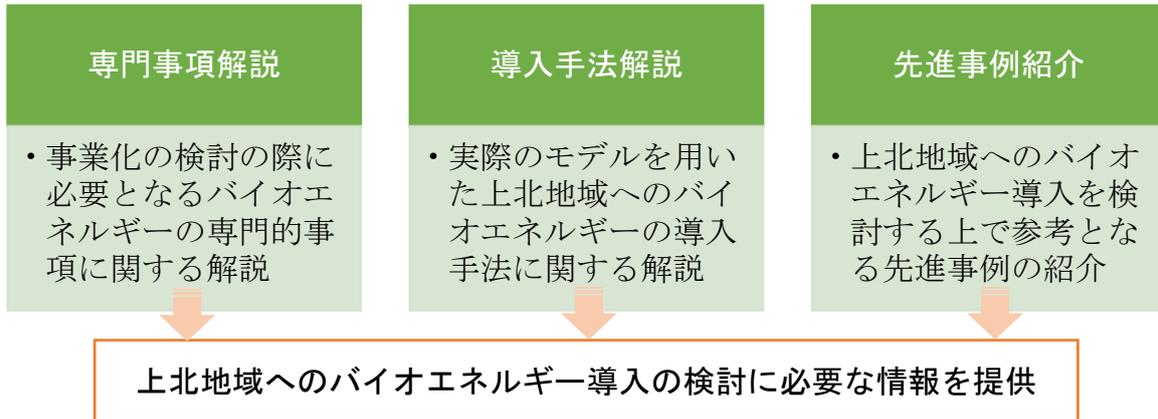


## 上北地域バイオエネルギーデザイン研修（概要）

### 1 目的

上北地域でのバイオエネルギーの導入の検討に必要な専門的知見や事業化を進めるための具体的手法について習得することを目的とした研修です。

### 2 項目



### 3 内容

#### （1）専門事項解説

全6回のテーマで事業化の検討に必要な専門的事項を解説します。

#### ● 平成28年度テーマ

##### 第1回「バイオエネルギーを知る」

・バイオエネルギーの現状と最新動向、導入メリット 等

##### 第2回「メタン発酵を知る」

・メタン発酵に適したバイオガス資源、メタン発酵技術 等

##### 第3回「バイオガスプラントを知る」

・バイオガスプラントの種別、構造、稼働条件 等

#### ● 平成29年度テーマ（予定）

##### 第4回「バイオエネルギーの利用方法を知る」

・バイオガス発電技術、バイオエネルギー利用方法 等

##### 第5回「地域と共存するための手法を知る」

・バイオエネルギー導入の際の留意すべき法規制・リスク管理 等

##### 第6回 講演

・上北地域へのバイオエネルギー導入の可能性

## (2) 導入手法解説

モデル地域内での事例を用い、実際に事業化を検討する際の手順を解説します。

### Step1 バイオガス資源調査

モデル地域内のバイオガス資源の状況（性状やメタンガス発生量等）を調査し、利用可能な資源を選定します。



### Step2 事業体制に関する検討

Step1 で選定したバイオガス資源の処理に必要となるプラントスペックや稼働条件、エネルギーや消化液の利用方法、資源運搬方法、リスク管理等の事業体制について検討します。



### Step3 収支予測

Step2 で検討した事業体制により、事業化した場合の収支を予測します。

## (3) 先進事例紹介

平成28年度

### 第1回研修会 京都府京丹後市エコエネルギーセンター

食品工場等から発生する有機汚泥や加工残さ等を原料にメタン発酵が行われている施設であり、発生する消化液についても液肥として利用されています。

### 第2回研修会 京都府南丹市八木バイオエコロジーセンター

食品加工残さと家畜ふん尿を原料にメタン発酵が行われている施設であり、発生する消化液についても液肥として利用されています。

### 第3回研修会 消化液の農地利用・収集・散布計画の作成手法について（農研機構）

農研機構（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）は、農林水産省関係の14の試験研究機関が統合して設立された国立研究開発法人であり、その内部機関である農村工学研究所では、農村部でのメタン発酵技術の普及に関する研究に取り組んでいます。



京丹後市エコエネルギーセンター



八木バイオエコロジーセンター